



Le symbolisme et le « paysage », de Baudelaire à Proust

連続シンポジウム「象徴主義とは何か」第一回

象徴主義と〈風景〉

— ボードレールからプルーストまで —

フランス象徴主義——誕生から百五十年の時間が流れようとしている現在もなお、その全貌を完全に把握することは難しい。一体、象徴主義とはどのような文学運動だったのか。このシンポジウムは、象徴主義を解明するために連続的に開催するシリーズの第一回である。

十九世紀文学において〈風景〉が特権的な主題であったことは疑いない。ロマン主義において（ユゴー、シャトーブリアン、バルザック）、自然主義において（フロベール、ゾラ）、〈風景〉が特別な位置を占めていたことは確かだ。

では、象徴主義の作家たちはどうだったのだろうか。彼らは〈風景〉といかに対峙したのか。

今回、我々はこの〈風景〉という観点から、フランス象徴主義の意義に迫る。



2017年 9月 30日（土）10：00 — 18：30
東北大学 マルチメディア教育研究棟 6階ホール

主催：東北象徴主義研究会 共催：関西マラルメ研究会（第25回研究発表会を兼ねる）

PROGRAMME

午前 : Session 1

司会 : 中畑 寛之

趣旨説明 : 坂巻 康司

10 : 00 – 10 : 10

シャルル・ボードレー

10 : 10 – 11 : 00

- ・ボードレーにおける風景と個性
- ・ボードレー散文詩における他者という風景

清水まさ志 (宮崎大学)

廣田 大地 (神戸大学)

マルスリーヌ・デボルド＝ヴァルモール / テオドール・ド・バンヴィル

11 : 05 – 11 : 55

- ・デボルド＝ヴァルモールが描く夢とうつつの風景 : 『未完詩集』(1860)を中心に

岡部 杏子 (早稲田大学
招聘研究員)

- ・テオドール・ド・バンヴィルにおける風景

松村 悠子 (早稲田大学)

討議

11 : 55 – 12 : 10

午後 I : Session 2

司会 : 足立 和彦 (名城大学)

アルチュール・ランボー / ポール・ヴェルレーヌ

13 : 10 – 14 : 25

- ・ランボーと風景 — 自然と都市 —
- ・ランボーの原風景
- ・対立、融和、揺らめき — ヴェルレーヌにおける主体と風景

深井 陽介 (東北大学)

田島 義士 (水産大学校)

玉田優花子 (東北大学
博士課程)

モーリス・マーテルランク / アルフレッド・ジャリ

14 : 30 – 15 : 20

- ・風景としての室内 — ベルギーにおける象徴主義的室内画を巡って
- ・ジャリにおける象徴主義的風景について

三田 順 (北里大学)

合田 陽祐 (山形大学)

討議

15 : 20 – 15 : 40

午後 II : Session 3

司会 : 廣田 大地

ステファヌ・マラルメ

16 : 00 – 17 : 15

- ・都市へのまなざし — ボードレーからマラルメへ
- ・マラルメ三景 — lecteur d'horizons
- ・風景のミモロジスム — ユゴーとマラルメ —

坂巻 康司 (東北大学)

中畑 寛之 (神戸大学)

立花 史 (早稲田大学)

ポール・ヴァレリー / マルセル・ブルースト

17 : 20 – 18 : 10

- ・不定形なものの美学 — ヴアレリー『ドガ ダンス デッサン』を中心に —

今井 勉 (東北大学)

- ・ブルーストの〈風景〉 — 象徴主義との関連で —

津森 圭一 (新潟大学)

討議

18 : 10 – 18 : 30

懇親会

19 : 00 – 21 : 00

お問い合わせ : 東北大学大学院国際文化研究科 坂巻 康司

Tel (研究室) : 022-795-7688 Mail : kojimaki@ac.auone-net.jp